

下郷町立榑原小学校の校章について

現在の校章は、昭和33年の校歌の制定に合わせて、当時、本校教諭で図工主任だった玉川岩雄（たまがわ いわお）先生がデザインしたものです。榑原小学校の児童のみなさんが郷土愛にあふれた子どもになってほしいという願いが込められています。

玉川岩雄先生は、下郷町白岩出身で、現在は会津若松市にお住まいになり、版画家として活躍されています。



「高倉山」をデザイン化したもので、高い理想とゆるぎない信念を表しています。また、深い緑色は、思慮深さを表しています。

「榑の木の葉」をデザイン化したもので、地域の豊かな自然を表しています。また、葉の薄緑色は、子どもたちのみずみずしさを、葉脈の銀色は子どもたちのきらめく感性を表しています。

金色の「榑小」の文字は、本校のますますの発展と活躍を表しています。

リボンは、左右の葉の結び付きをデザイン化したもので、団結、協力、友情を表しています。また、金色は、それらの大切さを表しています。



昭和33年頃の玉川岩雄先生



現在の玉川岩雄先生（平成26年2月12日撮影）